

職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進平成 27 年度「1. 学校評価の充実」事業 「富山県の専修学校・各種学校の教職員を対象とした学校評価に関する研修モデルの実証」研修会の質疑応答(H28.2.12)

質疑 1

自己評価時期については、年度末に職員会議の場で事業の振り返りを実施しているが、年度末業務が多忙のためなかなか成果が上がらない。

どの時期に自己評価を実施すれば効果が上がるのか伺いたい。

応答

(A校)

自己評価のスケジュール管理の問題かと思うが、まず、次年度の重点目標と活動計画作成に反映できる時期に実施する必要がある。又そのための「振り返り項目」をきちんと定めて、数値に基づく検証が重要となる。

当校では、次年度の経営方針を 11 月に定め、それに基づき翌年の 1 月に重点目標・活動計画を決定していく。

例えば次年度の募集案内(学科内容)やカリキュラムを 11 月に決定するためには、9~11 月にかけて準備する必要がある。このことから前年度の自己評価をそれ以前に実施しておく必要があることから、8 月末までに前年度の自己評価を実施することとしている。

(B校)

当校では、年度途中の 12 月に一度振り返りを実施し、最終的には年度をまたいで 6 月頃までに実施している。

(C校)

当校は、非常勤講師数が多いこともあり、毎年 2 月に講師会を開催して実施している。

質疑 2

学校関係者評価の委員選任について伺いたい。

応答

(A校)

文部科学省が策定した「専修学校におけるガイドライン」を踏まえ、地元企業関係者、卒業生関係者、高等学校関係者、保護者関係者の 4 名を選任して実施している。